



## 平成26年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月7日

上場会社名 日本社宅サービス株式会社  
 コード番号 8945 URL <http://www.svataku.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 笹 晃弘  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 竹村 清紀  
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

上場取引所 東

TEL 03-5229-8700

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年6月期第2四半期の連結業績(平成25年7月1日～平成25年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年6月期第2四半期	3,100	3.1	269	32.0	276	35.6	162	53.7
25年6月期第2四半期	3,006	0.5	204	△37.7	203	△37.7	105	△35.2

(注) 包括利益 26年6月期第2四半期 211百万円 (50.8%) 25年6月期第2四半期 140百万円 (△7.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年6月期第2四半期	40.69	38.39
25年6月期第2四半期	26.36	24.75

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年6月期第2四半期	4,384	2,145	48.0
25年6月期	4,778	2,007	41.0

(参考) 自己資本 26年6月期第2四半期 2,103百万円 25年6月期 1,961百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年6月期	—	0.00	—	19.00	19.00
26年6月期	—	0.00	—	—	—
26年6月期(予想)	—	—	—	19.00	19.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年 6月期の連結業績予想(平成25年 7月 1日～平成26年 6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,471	5.3	460	4.6	480	2.6	283	34.3	71.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年6月期2Q	6,138,900 株	25年6月期	6,112,800 株
② 期末自己株式数	26年6月期2Q	2,137,348 株	25年6月期	2,137,348 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年6月期2Q	3,990,635 株	25年6月期2Q	4,005,577 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により、大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策や金融緩和等の各種政策の効果が発現するなか、生産の緩やかな増加、個人消費の持ち直し、企業収益の改善など緩やかな回復基調で推移いたしました。

社宅管理事務代行事業においては、先送り傾向にあったアウトソーシングの新規導入やアウトソーシングを新たに検討する企業が徐々に増加してきたことで、社宅アウトソーシング市場の再活性化が確認できるようになってきました。一方、施設総合管理事業においては、競合他社との厳しい価格競争が続くなか、品質・サービス水準の向上による顧客維持力強化と運営体制整備による効率化を基本としながら、新規受注の取組み強化によるリプレース受注拡大に向けた営業活動に注力してまいりました。

このような状況のもと、当社グループは、平成25年7月より始動させた第5次中期経営計画において、「新たな価値を創造し、世の中の標準に進化させることで、社会に貢献する」をミッションとし「継続的規模拡大と新規サービスの投入（社宅管理事務代行事業）」と「市場構造の変化に対応し進化する企業体（施設総合管理事業）」を主要テーマに掲げ、社宅アウトソーシング事業のサービス継続体制の拡充を引き続き推進し、基盤事業としての継続的な規模拡大を図りながら、長期的な視点に立った新たなサービスを推進しております。加えて、施設管理サービスの品質・価値最大化を図るべく、新規受託の拡大と既存ストックからの収益拡大に取り組んでおります。

この結果、売上高は31億円（前年同期比3.1%増）、営業利益は上期に予定していた経費の一部が下期にずれ込んだこともあり2億69百万円（同32.0%増）となり、経常利益は2億76百万円（同35.6%増）、四半期純利益は1億62百万円（同53.7%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間のセグメントの業績は、次の通りであります。

#### ①社宅管理事務代行事業

売上高は、良好な営業環境のもとでアウトソーシングの引き合いも多く、新規稼働が順調に増加し15億25百万円（前年同期比7.2%増）となりました。営業利益は、経費の一部が下期にずれ込んだこともあり2億10百万円（同19.6%増）となりました。

#### ②施設総合管理事業

売上高は、前期受注分が順調に稼働したこともあり、管理収入は堅調に推移したものの修繕工事関連の売上の一部月ずれ等が発生し、15億75百万円（前年同期比0.5%減）となりました。営業利益は、のれんの償却が第1四半期連結会計期間に終了したことから58百万円（同109.3%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ3億93百万円減少し、43億84百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ5億10百万円減少し、32億35百万円となりました。これは主に営業立替金の減少5億24百万円によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ1億16百万円増加し、11億49百万円となりました。これは主に保有株式の時価評価にともなう投資有価証券の増加68百万円及び保険積立金の増加50百万円によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ5億32百万円減少し、22億38百万円となりました。流動負債は、前連結会計年度末に比べ5億69百万円減少し、20億21百万円となりました。これは主に短期借入金の減少2億90百万円及び営業預り金の減少1億7百万円によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ1億38百万円増加し、21億45百万円となりました。これは主に、利益剰余金が86百万円増加したこと及び保有株式の時価評価にともなうその他有価証券評価差額金が49百万円増加したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末より104百万円増加し、17億65百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次の通りであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において営業活動により増加した資金は、5億7百万円(前年同期は52百万円の資金の増加)となりました。これは主として営業預り金の減少1億7百万円、仕入債務の減少56百万円及び法人税等の支払額67百万円による資金の減少があったものの、税金等調整前当期純利益2億75百万円、営業立替金の減少による増加5億24百万円によるものであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において投資活動により減少した資金は40百万円(前年同期は73百万円の資金の減少)となりました。これは主として保険積立金の積立による支出50百万円、固定資産の取得による支出15百万円及び貸付金の回収による収入30百万円によるものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において財務活動により減少した資金は3億62百万円(前年同期は24百万円の資金の減少)となりました。これは主として短期借入金による純減額2億90百万円及び配当金の支払額75百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想に関しましては、本日(平成26年2月7日)公表いたしました「業績予想値と決算値との差異に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,685,862	1,790,121
売掛金	214,849	176,235
営業立替金	1,390,769	865,806
商品	15,843	14,500
仕掛品	4,002	3,533
原材料及び貯蔵品	4,699	5,038
その他	432,190	382,376
貸倒引当金	△2,931	△2,575
流動資産合計	3,745,286	3,235,035
固定資産		
有形固定資産	114,158	105,713
無形固定資産		
のれん	1,401	—
その他	176,991	167,738
無形固定資産合計	178,393	167,738
投資その他の資産	740,501	876,063
固定資産合計	1,033,053	1,149,516
資産合計	4,778,339	4,384,552
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	243,144	177,588
短期借入金	975,000	685,000
未払法人税等	74,437	99,022
営業預り金	512,200	405,008
賞与引当金	26,097	27,303
役員賞与引当金	30,669	15,947
その他	729,606	611,971
流動負債合計	2,591,156	2,021,842
固定負債		
退職給付引当金	163,960	172,538
その他	16,210	44,516
固定負債合計	180,170	217,054
負債合計	2,771,327	2,238,896
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	624,140	626,985
資本剰余金	373,988	376,833
利益剰余金	1,653,349	1,740,196
自己株式	△756,428	△756,428
株主資本合計	1,895,049	1,987,587
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	66,212	115,532
その他の包括利益累計額合計	66,212	115,532
新株予約権	45,751	42,535
純資産合計	2,007,012	2,145,655
負債純資産合計	4,778,339	4,384,552

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)
売上高	3,006,212	3,100,890
売上原価	2,384,413	2,492,637
売上総利益	621,799	608,253
販売費及び一般管理費	417,361	338,411
営業利益	204,437	269,841
営業外収益		
受取利息	115	971
受取配当金	520	477
受取手数料	526	501
投資事業組合運用益	—	878
補助金収入	—	3,998
その他	492	650
営業外収益合計	1,655	7,477
営業外費用		
投資事業組合運用損	143	—
支払補償費	1,856	888
その他	270	—
営業外費用合計	2,269	888
経常利益	203,823	276,430
特別利益		
固定資産売却益	1,789	—
投資有価証券売却益	7,487	60
新株予約権戻入益	1,667	15
特別利益合計	10,944	75
特別損失		
固定資産除却損	136	1,224
投資有価証券売却損	78	—
特別損失合計	214	1,224
税金等調整前四半期純利益	214,553	275,281
法人税等	108,933	112,901
少数株主損益調整前四半期純利益	105,619	162,380
四半期純利益	105,619	162,380

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	105,619	162,380
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	34,727	49,320
その他の包括利益合計	34,727	49,320
四半期包括利益	140,347	211,700
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	140,347	211,700
少数株主に係る四半期包括利益	—	—



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成24年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成25年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	214,553	275,281
減価償却費	38,813	36,034
株式報酬費用	30,268	—
新株予約権戻入益	△1,667	△15
のれん償却額	54,994	1,401
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△848	△355
賞与引当金の増減額(△は減少)	△312	1,205
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△10,519	△14,722
退職給付引当金の増減額(△は減少)	10,314	8,578
受取利息及び受取配当金	△636	△1,448
支払利息	2,153	2,403
投資有価証券売却損益(△は益)	△7,409	△60
投資事業組合運用損益(△は益)	143	△878
有形固定資産売却損益(△は益)	△1,789	—
固定資産除却損	136	1,224
売上債権の増減額(△は増加)	84,019	38,614
仕入債務の増減額(△は減少)	△131,363	△56,232
営業立替金の増減額(△は増加)	170,512	524,963
たな卸資産の増減額(△は増加)	△9,198	1,472
前受金の増減額(△は減少)	△86,752	△85,442
営業預り金の増減額(△は減少)	△107,919	△107,191
その他	△58,123	△54,140
小計	189,365	570,690
利息及び配当金の受取額	5,519	6,386
利息の支払額	△2,259	△2,325
法人税等の支払額	△140,080	△67,578
営業活動によるキャッシュ・フロー	52,545	507,172
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△41,062	△5,070
有形固定資産の売却による収入	10,017	—
無形固定資産の取得による支出	△45,237	△10,803
投資有価証券の取得による支出	△150	△153
投資有価証券の売却による収入	551	129
貸付金の回収による収入	—	30,000
保険積立金の積立による支出	—	△50,000
その他	2,138	△4,470
投資活動によるキャッシュ・フロー	△73,742	△40,369
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	302,000	△290,000
株式の発行による収入	46	2,491
自己株式の取得による支出	△251,662	—
配当金の支払額	△75,100	△75,036
財務活動によるキャッシュ・フロー	△24,716	△362,544
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△45,914	104,258
現金及び現金同等物の期首残高	1,763,411	1,661,604
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,717,497	1,765,862

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年7月1日至平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント		合計 (千円)	調整額 (千円) (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注)2
	社宅管理事 務代行事業 (千円)	施設総合管 理事業 (千円)			
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	1,423,679	1,582,532	3,006,212	—	3,006,212
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	210	2,179	2,390	(2,390)	—
計	1,423,890	1,584,712	3,008,603	(2,390)	3,006,212
セグメント利益	176,186	27,864	204,051	386	204,437

(注) 1. セグメント利益の「調整額」は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年7月1日至平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント		合計 (千円)	調整額 (千円) (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注)2
	社宅管理事 務代行事業 (千円)	施設総合管 理事業 (千円)			
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	1,525,889	1,575,001	3,100,890	—	3,100,890
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	209	2,139	2,348	(2,348)	—
計	1,526,099	1,577,140	3,103,239	(2,348)	3,100,890
セグメント利益	210,640	58,322	268,963	878	269,841

(注) 1. セグメント利益の「調整額」は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。